

平成 30 年度末実績（未確定分）の確定について

令和元年 9 月に「市政改革プラン 2.0」の進捗状況（平成 30 年度末時点）を取りまとめましたが、「環境に配慮した率先的な取組（p 21）」については、平成 30 年度目標に係る実績を未確定として公表したところです。

このたび、平成 30 年度実績が確定しましたので、公表します。

1. 柱 1-1-(4)-ア 環境に配慮した率先的な取組

●実績確定前（「市政改革プラン 2.0」の進捗状況（平成 30 年度末時点） p 21）

目標の達成状況

目標	30 年度実績	30 年度目標の評価	元年度目標（設定・変更等）
大阪市事務事業の低炭素化 CO ₂ 排出量削減（いずれも 25 年度比） 28 年度 3.2%減 (4.0 万トン-CO ₂ に相当) 29 年度 28 年度の CO ₂ 排出量削減 8.1%(10.3 万トン-CO ₂ に相当) 以上 30 年度 民営化に伴い交通局分を除外して算定した 29 年度の CO ₂ 排出量削減 10.3%(10.3 万トン-CO ₂ に相当)を超える削減。 元年度 29 年度実績及び元年度以降の事業計画を踏まえ、大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕の目標の上積みを行う予定。上積みの結果を踏まえて「市政改革プラン 2.0」の目標を再設定予定。	未定 ※元年 9 月確定予定	二	元年度 16.8%減 (16.8 万トン-CO ₂ に相当) (理由) 大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕の 2 年度目標を 8.4% から 20.1% に上方修正したことを踏まえて「市政改革プラン 2.0」の目標の再設定を行ったため。

取組の実施状況

30 年度の取組内容	30 年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
①公共施設における低炭素化の推進 ・LED 照明の導入拡大 事業者選定 事業者と契約 工事着手 ・ESCO 事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場の事業者と契約 おとしよりすこやかセンター西部館の事業者選定 ・太陽光発電の導入拡大 市有建築物の屋根の目的外使用許可による太陽光パネルの設置	・LED 照明の導入拡大 市有 39 施設に LED 照明の導入を実施する事業者と契約を実施し（12 月）、工事に着手した（1 月）。 ・ESCO 事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場の事業者と契約（9 月）、工事完了（1 月）。 おとしよりすこやかセンター西部館の事業者を選定。（11 月） ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校 60 校を対象に、市有建築物の屋根の目的外使用許可による太陽光パネルの設置工事に着手した。（通年）	・取組の進捗状況を踏まえて、引き続き「大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」に沿った取組を推進し、大阪市事務事業の低炭素化を図る必要がある。	・LED 照明の導入拡大 市有 39 施設の工事完了。（上期） ・ESCO 事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場のサービス開始。（4 月） おとしよりすこやかセンター西部館の事業者と契約。（上期） 中央図書館外 16 施設の事業者を募集する。（上期） ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校 60 校の工事完了。（8 月） 新たに市内小中学校 140 校を対象に、太陽光パネルの設置の可能性を検討し、実施可能な施設について、工事に着手。（通年）

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
②ごみの減量・リサイクル推進 ・廃棄物減量等推進審議会において審議を行うとともに、食品ロスの削減に取り組む等、ごみの減量・リサイクルを推進	・ごみ減量・リサイクルに係る行政計画である「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しに向けて進捗状況の分析を進めるとともに、廃棄物減量等推進審議会で審議した。		・「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しを実施。(通年)
③車両対策の推進 ・30年3月に策定した「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を進める	・「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を進めた。		・引き続き「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を促進。(通年)
④職員による環境マネジメントの強化 ・「大阪市庁内環境管理計画」に基づく実績調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施	・「大阪市庁内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等を実施した。		・引き続き「大阪市庁内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施。(通年)
⑤未利用エネルギーの有効活用の推進 ・小水力発電の導入工事完了	・小水力発電の導入 咲洲配水場に小水力発電設備を設置した。(3月)		・地下水の熱利用 アミティ舞洲において、空調設備に帯水層蓄熱利用システムを導入、技術開発・実証事業を実施。(通年)



●実績確定後

目標の達成状況

目標	30年度実績	30年度目標の評価	元年度目標(設定・変更等)
大阪市事務事業の低炭素化 CO2排出量削減(いずれも25年度比) 28年度 3.2%減 (4.0万トン-CO2に相当) 29年度 28年度のCO2排出量削減8.1%(10.3万トン-CO2に相当)以上 30年度 民営化に伴い交通局分を除外して算定した29年度のCO2排出量削減10.3%(10.3万トン-CO2に相当)を超える削減。 元年度 29年度実績及び元年度以降の事業計画を踏まえ、大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕の目標の上積みを行う予定。上積みの結果を踏まえて「市政改革プラン2.0」の目標を再設定予定。	10.9%減 (10.9万トン-CO2に相当)	達成	元年度 16.8%減 (16.8万トン-CO2に相当) (理由) 大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕の2年度目標を8.4%から20.1%に上方修正したことを踏まえて「市政改革プラン2.0」の目標の再設定を行ったため。

取組の実施状況

30年度の取組内容	30年度の主な取組実績	課題	元年度の取組内容
①公共施設における低炭素化の推進 ・LED照明の導入拡大 事業者選定 事業者と契約 工事着手 ・ESCO事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場の事業者と契約 おとしよりすこやかセンター西部館の事業者選定 ・太陽光発電の導入拡大 市有建築物の屋根の目的外使用許可による太陽光パネルの設置	・LED照明の導入拡大 市有39施設にLED照明の導入を実施する事業者と契約を実施し(12月)、工事に着手した(1月)。 ・ESCO事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場の事業者と契約(9月)、工事完了(1月)。 おとしよりすこやかセンター西部館の事業者を選定。(11月) ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校60校を対象に、市有建築物の屋根の目的外使用許可による太陽光パネルの設置工事に着手した。(通年)	・取組の進捗状況を踏まえて、引き続き「大阪市地球温暖化対策実行計画〔事務事業編〕」に沿った取組を推進し、大阪市の低炭素化を図る必要がある。	・LED照明の導入拡大 市有39施設の工事完了。(上期) ・ESCO事業の実施拡大 中央卸売市場東部市場のサービス開始。(4月) おとしよりすこやかセンター西部館の事業者と契約。(上期) 中央図書館外16施設の事業者を募集する。(上期) ・太陽光発電の導入拡大 市内小中学校60校の工事完了。(8月) 新たに市内小中学校140校を対象に、太陽光パネルの設置の可能性を検討し、実施可能な施設について、工事に着手。(通年)
②ごみの減量・リサイクル推進 ・廃棄物減量等推進審議会において審議を行うとともに、食品ロスの削減に取り組む等、ごみの減量・リサイクルを推進	・ごみ減量・リサイクルに係る行政計画である「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しに向けて進捗状況の分析を進めるとともに、廃棄物減量等推進審議会で審議した。		・「一般廃棄物処理基本計画」の中間見直しを実施。(通年)
③車両対策の推進 ・30年3月に策定した「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を進める	・「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を進めた。		・引き続き「大阪市エコカー普及促進に関する取組方針」に基づき公用車へのエコカー導入を促進。(通年)
④職員による環境マネジメントの強化 ・「大阪市市内環境管理計画」に基づく実績調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施	・「大阪市市内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等を実施した。		・引き続き「大阪市市内環境管理計画」に基づく実績・取組状況調査、研修、内部監査、外部評価等の取組を実施。(通年)
⑤未利用エネルギーの有効活用の推進 ・小水力発電の導入 工事完了	・小水力発電の導入 咲洲配水場に小水力発電設備を設置した。(3月)		・地下水の熱利用 アミティ舞洲において、空調設備に帯水層蓄熱利用システムを導入、技術開発・実証事業を実施。(通年)

<参考>

実績の確定を反映した平成30年度目標の評価結果一覧は、次のとおりです。

[評価結果一覧]

改革の柱	評価結果の区分	評価可能な平成30年度目標	
		達成	未達成
1 質の高い行財政運営の推進	17	13	4
2 官民連携の推進	13	8	5
3 改革推進体制の強化	8	5	3
計	38	26	12